



平成 29 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ナガオカ
代表者名 代表取締役社長 梅津 泰久
(コード：6239、東証 J A S D A Q)
問合せ先 管理本部長 楯本 智也
(TEL 0725-21-5750)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 8 月 9 日に中期経営計画策定に関するお知らせを公表しておりますが、平成 29 年 2 月 9 日に代表取締役が異動し、新経営体制へ移行したこともあり、新たに中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

記

- 【企業理念】 限りある資源「水」「石油」の明日のため、技術の革新と開発で未来に貢献します
株式会社ナガオカは、環境にやさしい知恵を用いた浄水装置や取水装置、石油精製装置を製造し、社会に貢献します。
- 【ビジョン】 ◇顧客満足の上昇
◇働き甲斐のある社風
◇技術革新と開発力による社会貢献
◇コンプライアンス経営の徹底
- 【基本方針】 「エネルギー」から「水」へ主力セクターの変更
- 【施 策】 海外水事業：新たな体制での海外水案件の掘り起こし
○ベトナム：大手ビール会社で実証実験、実機導入に向けてのプロセスを開始
○マレーシア：代理店とスクラムを組んで浄水場の新設工事案件の受注を狙う
○タイ：タイ地方水道公社のケミレスパイロット試験の実施に向け、タイ地方水道公社及び三井物産プラントシステム株式会社と「ケミレスの実証実験に関する覚書」を締結
- 国内水事業：安定的な取水事業と実績を武器にしたケミレスの展開
○取水：東京オリンピック前のインフラ整備・補修のための建設工事や東京外郭環状道路の地下ジャンクション建設工事に取水スクリーンの需要が見込まれる
○ケミレス：実績のある水道事業体の浄水施設を主体に、トンネル湧水の土木工事、東京オリンピックを見据えたホテルの増床に対応したリネン業界の水処理設備の新設改修計画、大手食品会社での実証実験の導入

○エアシス：土壌汚染対策処理装置として、一号機を販売済。株式会社ランドコンシェルジュとエアシス PLUS の日本国内独占販売契約を締結

○ハイシス：現在の海水淡水化は、膜法（RO膜法）が主流ですが、海水淡水化プラントには大幅なコストダウンが求められています。ハイシスは、コスト面で省スペース・省エネルギーに加え、薬品を使用しない海水取水装置です

エネルギー：安値受注を回避、原価管理を強化し、利益が出る案件の確保

○認証サプライヤーゆえに、引合案件はあるものの、貝塚工場と大連工場の二つの大きな過剰設備が仇に。貝塚工場の移転縮小と売却を決定し、過剰な設備から脱却。工場の稼働を考えた安値受注を回避するとともに、原価管理を強化し、利益が出る案件を確保

【親会社とのシナジー】

国内製造のインターナルについては、平成 29 年 10 月から稼働する当社新工場（株式会社ハマダ化工機工場に隣接した立地）でスクリーンを製造し、それ以外の製造工程は親会社である株式会社ハマダに 100% 外注することとします。これにより、株式会社ハマダは、国内インターナルの製造を一手に引き受けることとなり、当社としては、波のある受注製造で生じる過剰な従業員の確保を回避することが出来ると同時に、材工共に株式会社ハマダに依頼することにより、材料購入に対する当社の資金負担が軽減されることとなります。

【数値目標】

(単位：百万円)

	13 期実績	14 期予算	15 期計画	16 期計画
売上高	2,900	4,188	4,100	4,500
エネルギー	1,737	2,642	2,200	2,200
取水	640	805	800	800
ケミレス	489	656	1,000	1,300
ハイシス・その他	33	85	100	200
売上原価	2,410	3,129	2,860	2,390
売上総利益	489	1,059	1,240	1,430
エネルギー	18	461	440	460
取水	257	348	360	360
ケミレス	207	213	400	520
ハイシス・その他	6	37	40	90
販売費及び一般管理費	1,082	848	950	1,100
人件費	471	399	450	550
その他経費	611	449	500	550
営業利益	△592	211	290	330
経常利益	△594	201	270	310

以上